

簡易公募型競争入札方式に準じた方式【総合評価落札方式（簡易型）】  
に係る手続開始の公示

次のとおり指名競争入札参加者の選定の手続を開始します。

平成22年9月6日

分任支出負担行為担当官

沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所長 上原 勇賢

1. 業務概要

- (1) 業務名 平成22年度沖縄地方ダム管理資料作成業務（電子入札対象案件）
- (2) 業務内容 本業務は、北部ダム統合管理事務所が所管する7ダムの管理・調査データについて「ダム管理フォローアップ年次報告書作成の手引き」に沿った整理・解析を行い「平成21年次報告書」を作成する。また、平成22年次の雨量・河川水位・水質調査・堆砂測量の各データの点検を行うものである。
  - 1) 計画準備
  - 2) 打合せ協議
  - 3) 平成21年次データ収集整理
  - 4) 平成21年次データの解析検討
  - 5) 平成21年次報告書作成
  - 6) 報告書作成
  - 7) 平成22年次水文データ等点検
- (3) 履行期間 契約締結の翌日～平成23年3月25日
- (4) 本業務は、入札前に業務計画等に関する技術提案を受け付け、価格以外の要素と入札価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の適用業務である。  
また、参加表明と同時に、技術提案書を提出する方式の試行業務である。  
(技術提案書の提出をもって参加表明書の申請とみなす)
- (5) 本業務は提出資料、入札等を電子入札システムで行う対象業務である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得た場合に限り紙入札方式に代えることができる。
- (6) 本業務は「低価格受注業務がある場合における予定管理技術者の手持ち業務量の制限等」の試行業務である。
- (7) 本業務は、技術提案書を提出する際に見積書の提出を求め、入札前に採用歩掛を公表する試行業務である。

## 2. 指名されるために必要な要件

入札参加者は、2-1に掲げる資格を満たしている単体企業あること。

### 2-1. 単体企業

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）（以下「予決令」という。）第98条において準用する第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 沖縄総合事務局における平成21・22年度土木関係建設コンサルタント業務に係る一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けている又は申請中であること。
- (3) 技術提案書の提出期限の日から開札の時までの期間に、沖縄総合事務局長から建設コンサルタント業務等に関し、指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、沖縄総合事務局発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続しているものでないこと。
- (5) 本業務に係わる業務の受託者は、別途発注済の「平成22年度北部ダム統合管理事務所資料整理業務（受託者：（社）沖縄建設弘済会）」の受託者又は当該受託者（出向元および派遣元を含む）と資本若しくは人事面（出向元および派遣元を含む）において関連がないものであること。
- (6) 沖縄本島内に本店、支店又は営業所の所在があること。

### 2-2. 入札参加者間の公平性

入札に参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡をとることは、競争契約入札心得第4条の3第2項の規程に抵触するものではないことに留意すること。

#### (1) 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社または子会社の一方が更生会社または更生手続が存続中の会社である場合は除く。

- ①親会社と子会社の関係にある場合
- ②親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

#### (2) 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし①については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

- ①一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
- ②一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

#### (3) その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

その他上記（1）又は（2）と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合。

### 2-3. 入札参加者を選定するための基準

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領に定める指名基準による。なお、同基準中の「当該業務における技術的適性」については、同種又は類似業務の実績並びに配置予定の技術者の資格、業務の経験及び手持ち業務等を勘案するものとする。

### 2-4. 技術提案書に関する要件

#### (1) 技術提案書の提出者に対する要件

##### ① 同種又は類似業務の実績

下記に示される同種又は類似業務等について、平成12年度以降公示日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない）において1件以上の実績を有さなければならない。

- ・同種業務：国土交通省、沖縄総合事務局開発建設部（営繕事業及び港湾・空港関係を除く）又は地方公共団体等が発注する業務で、ダム管理フォローアップ年次報告書作成を行った業務実績がある。又は、水質調査かつ生物調査を行った業務実績がある。（同一業務でなくても良い。）
- ・類似業務：国土交通省、沖縄総合事務局開発建設部（営繕事業及び港湾・空港関係を除く）又は地方公共団体等が発注する業務で、ダムにおける水質または生物について調査・とりまとめを実施した業務

ただし、発注機関は国土交通省、沖縄総合事務局開発建設部（営繕事業及び港湾・空港関係を除く）、地方公共団体、特殊法人、独立行政法人に限る。

② 実績として挙げた個々の業務成績が60点以上であること。ただし、「地方整備局委託業務等成績評定要領」（平成20年9月26日付け国官技第126号）又は、「沖縄総合事務局開発建設部（営繕事業及び港湾・空港関係を除く）業務委託等成績評定要領（平成20年9月30日付け府開技術第130号）」に基づく業務成績以外の業務は、この限りではない。

③ 平成20年度から21年度末までに完了した業務のうち、沖縄総合事務局開発建設部発注業務（営繕事業及び港湾・空港関係を除く）の「企業」の平均業務成績が2年連続で60点未満でないこと。

ただし、100万円以上の沖縄総合事務局開発建設部発注業務の実績がない場合は、この限りではない。

##### ④ 業務実施体制

業務の主たる部分を再委託するものでないこと。

業務の分担構成が不明確又は不自然でないこと。

⑤ 沖縄本島内に本店、支店又は営業所があること。

## (2) 配置予定技術者に対する要件

外国資格を有する技術者(わが国及びWTO政府調達協定締約国その他建設市場が開放的であると認められる国等の業者に所属する技術者に限る。)については、あらかじめ技術士相当又はRCCM相当との旧建設大臣認定(建設経済局建設振興課)または国土交通大臣認定(総合政策局建設振興課又は建設市場整備課)を受けている必要がある。なお、技術提案書の提出期限までに当該認定を受けていない場合に当該業者が指名を受けるためには指名通知の日までに大臣認定を受け、認定書の写しを提出しなければならない。

指名通知の日は平成22年10月15日(金)を予定する。

### ① 予定管理技術者

予定管理技術者については下記のア)、ウ)、エ) に示す条件を満たす者であり、

イ) の実績を有する者であることとする。

ア) 下記のいずれかの資格を有する者

[1] 技術士(総合技術監理部門ー建設又は環境部門)の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。

[2] 技術士(建設部門又は環境部門)試験に合格し、技術士法による登録を行っている者。

[3] RCCM(「河川、砂防及び海岸・海洋部門」、「建設環境部門」)の資格を有し「登録証書」の交付を受けている者。

ウ) 下記のいずれかの実績を有する者。

[1] 平成12年度から21年度までに完了した業務のうち、以下に記載する「同種又は類似業務」において1件以上の実績を有する者。

ただし、照査技術者として従事した業務は除く。

- ・同種業務：国土交通省、沖縄総合事務局開発建設部(営繕事業及び港湾・空港関係を除く)又は地方公共団体等が発注する業務で、ダム管理フォローアップ年次報告書作成を行った業務実績がある。又は、水質調査かつ生物調査を行った業務実績がある。(同一業務でなくても良い。)

- ・類似業務：国土交通省、沖縄総合事務局開発建設部(営繕事業及び港湾・空港関係を除く)又は地方公共団体等が発注する業務で、ダムにおける水質または生物について調査・とりまとめを実施した業務

ただし、発注機関は国土交通省、沖縄総合事務局開発建設部(営繕事業及び港湾・空港関係を除く)、地方公共団体、特殊法人、独立行政法人に限る。

ウ) 技術提案書提出期限日現在の手持ち業務量(本業務を含まず、特定後未契約のものを含む)が4億円未満かつ10件未満である者、ただし、本業務において担当技術者を兼務する場合は、手持ち業務量(本業務及び特定後未契約のもの

のを含む) が 2 億円未満かつ 5 件未満である者。手持ち業務とは、管理技術者、又は担当技術者となっている契約金額 5 0 0 万円以上の業務。

技術提案書提出期限日現在での手持ち業務のうち、国土交通省及び沖縄総合事務局開発建設部の所管に係る建設コンサルタント業務等において調査基準価格を下回る金額で落札した業務がある場合には、手持ち業務量の契約金額を 4 億円から 2 億円に、件数を 1 0 件から 5 件にするものとする。その上で、予定管理技術者が手持ち業務量の制限を満たすことが確認できない場合には、「競争契約入札心得について」(昭和 3 8 年 4 月 2 2 日付け建設省発厚第 5 号) 第 6 条第 9 号の規定により、入札に関する条件に違反した入札として、その入札を無効とするものとする。

また、本業務の履行期間中に予定管理技術者の手持ち業務量が契約金額で 4 億円、件数で 1 0 件(技術提案書提出期限日現在での手持ち業務に、国土交通省及び沖縄総合事務局開発建設部の所管に係る建設コンサルタント業務等で調査基準価格を下回る金額で落札したものがあつた場合には、契約金額で 2 億円、件数で 5 件)を超えないこととし、超えた場合には、遅滞なくその旨を報告しなければならない。その上で、業務の履行を継続することが著しく不相当と認められる場合には、当該管理技術者を、以下の[1]から[4]までのすべての要件を満たす技術者に交代させる等の措置請求を行う場合があるほか、業務の履行を継続する場合であっても、本業務の業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

[1] 当該管理技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者

[2] 当該管理技術者と同等の技術者資格を有する者

[3] 当該管理技術者と同等以上の業務成績平均点を有する者又は過去 4 年間の同種又は類似業務における業務成績平均点が 6 0 点以上である者

[4] 手持ち業務量が当該業務の入札説明書又は特記仕様書において設定している予定管理技術者の手持ち業務量の制限を超えない者。

エ) 平成 1 8 年度以降に完了した業務について、担当した沖縄総合事務局開発建設部発注業務(営繕事業及び港湾・空港関係を除く)の平均業務成績が 2 年連続 6 0 点未満でないこと。

ただし、1 0 0 万円以上の沖縄総合事務局開発建設部発注業務の実績がない場合は、この限りではない。

② 指名されるために必要な要件確認のため、添付を義務づけた技術資料等において、添付がなく、記載内容の確認できない場合は、書類不備により、指名されるために必要な要件の確認ができないとして失格とする。

### 3. 総合評価に関する事項

#### (1) 落札者の決定方法

入札参加者は、価格及び業務の実施方針に対する技術提案をもって入札をし、次の各要件に該当するもののうち下記（２）総合評価の方法によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

- ① 入札価格が予決令第 79 条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であること。なお、予定価格は設計図書に基づき算出するものとする。  
ただし、国の支払いの原因となる契約のうち予定価格が 1,000 万円を超える請負契約について落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。
- ② 上記において、評価値の最も高い者が 2 人以上あるときは、該当者にくじを引かせて落札者を決める。

## （２）総合評価の方法

### ① 評価値の算出方法

評価値の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{評価値} = \text{価格評価点} + \text{技術評価点}$$

### ② 価格評価点の算出方法

価格評価点の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{価格評価点} = (\text{価格評価点の配分点}) \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

なお、価格評価点の配分点は 60 点とする。

### ③ 技術評価点の算出方法

技術提案の内容に応じ、下記ア)、イ) の評価項目毎に評価を行い、技術評価点を与える。なお、技術評価点の満点は 60 点とする。

ア) 予定技術者の経験及び能力

イ) 実施方針等

技術評価点の算出方法は、以下のとおりとする。

$$\text{技術評価点} = 60 \text{ 点} \times (\text{技術評価点の得点合計} / \text{技術評価の配点合計})$$

$$\text{技術評価の得点合計} = (\text{ア) に係る評価点}) + (\text{技術提案評価点})$$

$$\text{技術提案評価点} = (\text{イ) に係る評価点})$$

### ④ 技術評価点における評価基準 ※詳細は入札説明書による

ア) 予定管理者技術者

- ・資格
- ・専門技術力
- ・情報収集力

イ) 実施方針等（業務の理解度、実施手順）

### ⑤ 総合評価は入札者の申込みに係る上記ア)、イ) により得られた技術評価点と当該

入札者から求められる価格評価点の合計値（評価値）をもって行う。

#### 4. 入札手続等

##### (1) 担当部局

〒905-0019 沖縄県名護市大北3丁目19番8号

内閣府沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所 総務課 総務係

電 話：0980-53-2442（代表） （内線）212

F A X：0980-52-4444

##### (2) 入札説明書の交付期間、場所及び交付方法

入札説明書は電子入札システムから入手するものとする。（ただし、紙入札方式の参加承諾を得た者には上記4.（1）にて交付する。）

交付期間：平成22年9月6日（月）～平成22年9月16日（木）までのうち、  
閉庁日を除く毎日の9時00分～17時15分までとする。ただし、平成  
22年9月16日（木）は12時00分を期限とする

##### (3) 技術提案書を提出できる者の範囲

技術提案書を提出する時において、上記2-1.（2）に掲げる一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けている者及び申請中の者とする。

##### (4) 技術提案書の受領期限並びに提出場所及び方法

受領期限：平成22年9月6日（月）から平成22年9月16日（木）までのうち、  
閉庁日を除く毎日9時00分から17時15分まで電子入札システムに  
て提出を行うこと。

ただし、平成22年9月16日（木）は12時00分を期限とする。

なお、申請書及び資料が、3MBを超える場合の提出方法等については、  
入札説明書による。

ただし、紙入札方式、発注者の承諾を得て持参あるいは郵送（書留郵便  
等の配達記録が残るものに限る）による場合は、平成22年9月16  
日（木）12時00分までに上記（1）に必着とする。

提出場所：紙入札方式、持参あるいは郵送による場合は上記4.（1）に同じ。

提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、紙入札方式による場  
合は、持参又は郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る）。

##### (5) ヒアリング

①以下の通りヒアリングを行う予定である。

実施場所：北部ダム統合管理事務所 会議室

実施予定日：平成22年10月5日（火）～平成22年10月6日（水）を予  
定している。

時間：15～30分程度

出席者：配置予定管理技術者（又は配置予定担当技術者の同席も可とする。）

- ②ヒアリングの実施日時は協議の上、決定する。
- ③ヒアリング時の追加資料は受理しない。
- ④ヒアリングでは技術資料に記載された以下の事項について質疑応答を行う。
  - ・配置予定管理技術者の経歴について
  - ・配置予定管理技術者の業務実績について
  - ・取り組み姿勢（業務の着眼点、実施方針）について
- ⑤競争参加資格を満足していない場合および提出される技術資料等において内容が殆ど記載されていない、又は提案内容が判断できない場合はヒアリングは実施しない。

(6) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、紙入札方式による場合は、紙により沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所 総務課 総務係に持参すること。

入札日時：電子入札システムによる場合の締め切りは平成22年10月20日（水）12時00分まで。

持参による場合の締め切りは平成22年10月20日（水）12時00分まで。

開札日時：平成22年10月21日（木）10時00分

開札場所：沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所 入札室

5. その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

①入札保証金 免除。

②契約保証金 免除。

(3) 入札の無効

本公示に示した指名されるために必要な要件を満たさない者のした入札、技術提案書に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(4) 手続きにおける交渉の有無 無。

(5) 契約書作成の要否 要。

なお、本業務において提出された技術提案について、提案内容として採用したもののについては契約特約事項として添付する。

(6) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4.(1)に同じ。

(7) 本案件は提出資料及び入札を電子入札システムで行うものであり、対応についての



詳細については、入札説明書による。

- (8) 沖縄総合事務局における平成21・22年度土木関係建設コンサルタント業務に係る一般競争（指名競争）参加資格申請書を受理されていない場合も競争参加資格確認申請書を提出することができるが、競争参加資格のある者として選定されるためには競争参加資格確認申請書の提出期限日において当該申請書を受理されてなければならない。
- (9) 入札書（技術提案の履行確実性の確認に係る部分に限る。）のヒアリングを実施するとともに、ヒアリングに際して追加資料の提出を求めることがある（入札説明書参照）。
- (10) 詳細は入札説明書による。

## 6. Summary

- (1) Official in charge of disbursement of the procuring entity: Yuken Uehara,  
Director of North Dam Integrated Control Office Okinawa General Bureau Cabinet Office, Government Of Japan
- (2) Subject matter of the contract: FY 2010 Okinawa dam management business documents
- (3) Time limit to express interests by electronic bidding system : 16 September 2010 12:00 (by bringing: 16 September 2010 12:00)
- (4) Time limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 20 October 2010 12:00 (by bringing: 20 October 2010 12:00)
- (5) Bid Opening : 21 October 2010 10:00
- (6) Contact point for tender documentation:  
North Dam Integrated Control Office Okinawa General Bureau Cabinet Office,  
Government Of Japan, 3-19-8 Ookita, Nago City, Okinawa Prefecture 905-0019  
Japan  
Tel: 0980-53-2442 Fax: 0980-52-4444  
E-mail: nishihira710@ogb.cao.go.jp